

愛知医科大学病院

病院長名 天野 哲也

所在地 〒480-1195
愛知県長久手市岩作雁又1番地1

交通案内 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分
東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

研修プログラム名：愛知医科大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム

【研修目標】

本プログラムでの研修を通して、医療の進歩に応じた知識・医療技能を持ち医療の質の向上と地域医療に貢献できる臨床能力を得る事ができます。また、学会発表や論文作成を通じ、科学者・研究者としての基礎を身につけることも目標としています。

【研修期間】4年

【研修スケジュール】

1年目は愛知医科大学病院で耳鼻咽喉科の基本的知識、診療技術を習得します。2年目以降は、愛知医科大学病院、地域の中核医療を担う連携施設や専門施設（国立がん研究センター東病院、国立国際医療研究センター病院、名鉄病院中耳サージセンター、名古屋掖済会病院）などにおいて1年～2年間研修を行い、実践力を身につけます。その後は、大学にて専門医取得に必要な到達目標を達成します。愛知医科大学病院では全国トップクラスの手術症例数であり豊富な症例を経験できます。耳科領域、鼻科領域、喉頭領域では耳鼻咽喉科臨床の基礎力を固めます。頭頸部領域では基本的な外科的手技、癌薬物療法や緩和治療の基本を学びます。社会人大学院へ進学し、診療・研修を行いながら基礎研究や臨床研究を行う事も可能です。また、例年、解剖セミナーを開催しており、手術手技の習得や解剖知識を深める機会としています。耳鼻咽喉科専門医取得を目指すプログラムですが、専門医取得後に世界標準の臨床/先端研究に繋がられる基礎力を身につけることを重視しています。

▼ 耳科手術現場



▲ 頭頸部手術現場



□ 主な連携施設

研修連携施設：名古屋掖済会病院、名鉄病院、国立がん研究センター東病院、国立国際医療研究センター病院

研修関連施設：

旭労災病院、名古屋記念病院、東濃厚生病院、厚生連足助病院

□ メッセージ

指導医（教授 藤本保志）

外科系で最も面白いのは頭頸部です。耳鼻咽喉科・頭頸部外科は小児から高齢者までの嗅覚、聴覚、味覚などの感覚、呼吸、嚥下、発声など生存に不可欠な機能を扱います。診断から治療まで一貫して関わる一方、眼科・脳外科・形成外科・消化器内科/外科、脳神経内科など多科連携、言語聴覚士や看護師、栄養士、薬剤師などとの多職種連携を活かしたチーム医療も重要です。



愛知医大では世界標準の耳鼻咽喉科・頭頸部外科を学べます。頭蓋底外科センターでの難治疾患治療から内視鏡下甲状腺手術、手術支援ロボット手術などの先端医療、多施設共同研究での頭頸部癌薬物療法から世界先端の基礎的研究まで学ぶ機会を提供します。聴力を改善する人工内耳、中耳手術症例は東海地方随一の実績を誇り、頭蓋底内視鏡手術では業界をリードするチームを持ちます。嚥下障害や音声障害、聴覚障害など患者の痛みを知り、寄り添い、その解決への努力を重ねるなかで患者の人生の質を高め、生活を守ることに、きっとやり甲斐を感じていただけたと思います。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科に少しでも興味のある方は、気軽にご連絡ください。一緒に夢をみましょう！

□ 募集要項

・採用予定人数	4人
・給与/月額	月額:426,709円(免許取得後3年目医師の平均、R4年度実績、別途賞与支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数/月	2～3回
・当直料/回	(救急外来) 宿直手当 約39,000円 (病棟) 宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の輪旋があります。
・応募連絡先	担当者 岸本 真由子 電話番号 0561-62-3311(内線22173) Eメール kishimoto.mayuko.654@mail.aichi-med-u.ac.jp